施 策 分 野 評 価 シ ー ト

1 基本目標・施策分野の名称

基本目標	3	豊かなこころを育むまち
施策分野	3	コミュニティ
10年後のめざす姿		さまざまな団体が地域づくりや地域コミュニティの活性化に取り組み、町内会・自治会の必要性を認識し、住民自らの自治による結束力の強い地域の姿が芽生え始めています。

2 施策数値指標

指標名	現状値	実 績				令和7年度 目標値（実績値）
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
これからの社会において、地域社会の活動（町内会・自治会など）に積極的に参加したいと答えた人の割合	18.4%（令和元年度）	—	—	—		20%（　　）
コミュニティ施設利用者数（町民会館、地区会館、コミュニティセンター）	193,258人（令和元年度）	109,955人	123,171人	147,638人		210,000人（　　）
説明・コメント		※これからの社会において、地域社会の活動（町内会・自治会など）に積極的に参加したいと答えた人の割合は、令和6年度にアンケートを実施予定	※これからの社会において、地域社会の活動（町内会・自治会など）に積極的に参加したいと答えた人の割合は、令和6年度にアンケートを実施予定	※これからの社会において、地域社会の活動（町内会・自治会など）に積極的に参加したいと答えた人の割合は、令和6年度にアンケートを実施予定		

3 予算・決算の状況

（単位：千円）

予 算 額					
事業費/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般財源	82,466	81,893	104,098		
国庫支出金	1,513	0	49,490		
都支出金	417	0	20,600		
地方債及びその他の特定財源	15,000	15,000	23,000		
総事業費（計）	99,396	96,893	197,188	0	0

（単位：千円）

決 算 額					
事業費/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般財源	68,567	83,776	100,006		
国庫支出金	3,897	0	48,390		
都支出金	39,710	1,919	21,000		
地方債及びその他の特定財源	13,418	7,555	12,460		
総事業費（計）	125,592	93,250	181,856	0	0

施策の評価（分析）

コロナ禍における外出自粛等がコミュニティの希薄化を加速させ、元に戻すことは更に難しい状況にあると言わざるを得ない状況であった。しかし、町事業を始め、徐々にイベント等が再開され、コミュニティ活動の再開を期待し、まちづくりの基礎となる地域コミュニティの活性化は町の発展に必要な事である。

4 重点施策

担当課	協働推進課・安全・安心課
基本構想・重視すべき視点	つながる地域づくり

施策	1	コミュニティ活動の活性化

年度	【進捗状況】（主な取組等）	【評価・査定】
令和3年度	地区会館及びスポーツ広場等は、地域に精通した地元町内会と維持管理及び貸出業務の委託契約を結び、施設管理者からの要望等を取り入れ、必要に応じた修繕等を行った。（協働推進課） コミュニティ機能、生涯学習機能等を備えた複合型施設であるコミュニティセンターは、地域住民の主体活動によるコミュニティ形成及び交流の場として有効活用している。（協働推進課） 町民会館は、令和3年5月8日から新型コロナウイルスワクチン集団接種会場としたため、施設貸出を中止している。（協働推進課） 地区会館及び各コミュニティセンターでは、緊急事態宣言等の発出及び新型コロナウイルス感染拡大防止により、令和3年4月1日から同年10月24日まで施設の貸出制限を実施した。（協働推進課） 武蔵野コミュニティセンターでは、空調設備改修工事により空調設備の入替等を行い、施設の環境改善に取り組んだ。あわせて、施設の貸出を令和4年2月11日から同年3月31日まで中止した。（協働推進課） コミュニティセンターの管理運営、コミセンまつり等を話し合うコミュニティセンター管理運営検討委員会（武蔵野・元狭山）をそれぞれ年2回（うち1回書面開催）開催した。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各コミュニティセンター主催事業及びコミセンまつりを中止した。（協働推進課） 自助及び共助の一躍を担う自主防災組織の活動においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響で十分な活動はできなかったが、コロナ禍においても、防災訓練で「タオルで知らせる安否確認」を実施し、防災意識の向上を図った。（安全・安心課）	**新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業が中止になりながらも、対策を講じながら町内会への支援を行い、また公式キャラクターを活用しながら、アプローチを変えた取組を行っていることは評価できる。地域コミュニティの活性化はまちづくりの大きな力となる事から、引き続き、町内会・自治会の負担軽減を図るとともに、協働を定着させるため、新たな方向性を見出すことも必要である。**
令和4年度	地区会館及びスポーツ広場等は、地域に精通した地元町内会と維持管理及び貸出業務の委託契約を結び、施設管理者からの要望等を取り入れ、必要に応じた修繕等を行った。（協働推進課） コミュニティ助成事業を活用し、各地区会館の椅子、机等の備品を整備することで、安全・安心にコミュニティ活動を行える環境を整備した。（協働推進課） コミュニティ機能、生涯学習機能等を備えた複合型施設であるコミュニティセンターは、地域住民の主体活動によるコミュニティ形成及び交流の場として有効活用している。（協働推進課） 町民会館は、令和3年5月8日から新型コロナウイルスワクチン集団接種会場としたため、施設貸出を中止している。（協働推進課） 地区会館及び各コミュニティセンターでは、令和3年10月25日以降、貸出時間制限を解除し、基本的対策の徹底を継続した。（協働推進課） コミュニティセンターの管理運営、コミセンまつり等を話し合うコミュニティセンター管理運営検討委員会を武蔵野で年2回、元狭山で年3回（うち1回書面開催）開催した。管理運営とコミセンまつりのほか、役場連絡所廃止（コンビニでの証明書発行）についても話し合った。（協働推進課） 武蔵野コミセンまつりと元狭山コミセンまつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したが、長岡コミセンまつりは開催した。（協働推進課） 武蔵野コミュニティセンター主催事業として、初心者の方を対象とした『ヨガ教室』と『コミセンの防災設備などを見学してみよう』を実施した。元狭山コミュニティセンター主催事業として、初心者の方を対象とした『太極拳教室』と『コミセンの防災設備などを見学してみよう』を実施した。長岡コミュニティセンター主催事業として、初心者の方を対象とした『やさしいヨガ教室』と『コミセンの防災設備などを見学してみよう』を実施した。（協働推進課） 自助及び共助の一躍を担う自主防災組織の活動においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響で十分な活動はできなかったが、コロナ禍においても、防災訓練で「タオルで知らせる安否確認」を実施し、防災意識の向上を図った。（安全・安心課）	**新型コロナウイルス感染拡大の長期化で、居住する地域への帰属意識が懸念される中、様々な工夫を凝らして、コミュニティ活性化に向け取り組んでいる。今後、事業活動等が活発化されることを期待するとともに、地域活動への意義、町内会・自治会の必要性を強く再認識してもらう必要がある。**

令和5年度	地区会館及びスポーツ広場等は、地域に精通した地元町内会と維持管理及び貸出業務の委託契約を結び、施設管理者からの要望等を取り入れ、必要に応じた修繕等を行った。（協働推進課） コミュニティ助成事業を活用し、各地区会館に会議用テーブル及びホワイトボードを整備することで、安全・安心にコミュニティ活動を行える環境を整備した。（協働推進課） コミュニティ機能、生涯学習機能等を備えた複合型施設であるコミュニティセンターは、地域住民の主体活動によるコミュニティ形成及び交流の場として有効活用している。（協働推進課） 町民会館は、令和3年5月8日から令和5年10月28日まで新型コロナウイルスワクチン集団接種会場として使用し、施設貸出を中止していたが、令和6年1月4日から再開した。（協働推進課） 地区会館及び各コミュニティセンターでは、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2類相当から5類に移行されたことにより、制限を解除した。（協働推進課） コミュニティセンターの管理運営、コミセンまつり等を話し合うコミュニティセンター管理運営検討委員会を武蔵野で年2回、元狭山で年2回（うち1回書面開催）開催した。管理運営状況とコミセン主催事業のほか、コミセンまつりについて話し合った。（協働推進課） 武蔵野コミセンまつり（5月）、元狭山コミセンまつり（11月）、長岡コミセンまつり（3月）を実施し、長岡コミセンまつりでは食べ物の提供（焼きそば及びポップコーン）を再開した。（協働推進課） 武蔵野コミセン主催事業を5回（写経教室・ボッチャ体験教室・楽ヨガ教室・お薬手帳ケース作り教室・「睡眠と健康」の知恵袋講座）、元狭山コミセン主催事業を4回（写経教室・ボッチャ体験教室・水引アート体験教室・「そうぞく」講座）、長岡コミセン主催事業を4回（写経教室・工作教室・ボッチャ体験教室・自彊術体験教室）実施した。（協働推進課） 自助及び共助の一躍を担う自主防災組織の活動においては、4年ぶりに参集型の総合防災訓練を実施した。訓練内容は、自主防災組織を対象に避難所開設訓練、全町民対象に避難行動確認訓練を実施し、防災意識の向上を図った。（安心・安全課）	**新型コロナウイルスの類型変更があり、さまざな障壁が取り除かれ、コミュニティ活動が再開されている。各コミュニティ施設の利用者数が回復する見込みであるが、今後の包括的な地域活動組織の育成・活動が求められるとともに、これまでにない交流のきっかけを生む新たなコミュニティにも期待している。**
令和6年度		
令和7年度		

			担当課	協働推進課
施策	2	地域コミュニティ活動の基盤づくり	基本構想・重視すべき視点	つながる地域づくり

年度	【進捗状況】（主な取組等）	【評価・査定】
令和3年度	地区会館及びスポーツ広場等は、地域に精通した地元町内会と維持管理及び貸出業務の委託契約を結び、施設管理者からの要望等を取り入れ、必要に応じた修繕等を行った。 コミュニティ機能、生涯学習機能等を備えた複合型施設であるコミュニティセンターは、地域住民の主体活動によるコミュニティ形成及び交流の場として有効活用している。 町民会館は、令和3年5月8日から新型コロナウイルスワクチン集団接種会場としたため、施設貸出を中止している。 地区会館及び各コミュニティセンターでは、緊急事態宣言等の発出及び新型コロナウイルス感染拡大防止により、令和3年4月1日から同年10月24日まで施設の貸出制限を実施した。 武蔵野コミュニティセンターでは、空調設備改修工事により空調設備の入替等を行い、施設の環境改善に取り組んだ。あわせて、施設の貸出を令和4年2月11日から同年3月31日まで中止した。 コミュニティセンターの管理運営、コミセンまつり等を話し合うコミュニティセンター管理運営検討委員会（武蔵野・元狭山）をそれぞれ年2回（うち1回書面開催）開催した。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各コミュニティセンター主催事業及びコミセンまつりを中止した。	**コミュニティ施設は地域コミュニティの基盤であり、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、適切に管理されている。しかし、施設の老朽化が非常に大きな課題となっている。利用者ニーズを捉え、施設のあり方を含めた施設運営等について、今後検討が必要である。**

令和4年度	地区会館及びスポーツ広場等は、地域に精通した地元町内会と維持管理及び貸出業務の委託契約を結び、施設管理者からの要望等を取り入れ、必要に応じた修繕等を行った。（協働推進課） ・コミュニティ助成事業を活用し、各地区会館の椅子、机等の備品を整備することで、安全・安心にコミュニティ活動を行える環境を整備した。（協働推進課） ・コミュニティ機能、生涯学習機能等を備えた複合型施設であるコミュニティセンターは、地域住民の主体活動によるコミュニティ形成及び交流の場として有効活用している。（協働推進課） 町民会館は、令和3年5月8日から新型コロナウイルスワクチン集団接種会場としたため、施設貸出を中止している。（協働推進課） 地区会館及び各コミュニティセンターでは、令和3年10月25日以降、貸出時間制限を解除し、基本的対策の徹底を継続した。（協働推進課） コミュニティセンターの管理運営、コミセンまつり等を話し合うコミュニティセンター管理運営検討委員会を武蔵野で年2回、元狭山で年3回（うち1回書面開催）開催した。管理運営とコミセンまつりのほか、役場連絡所廃止（コンビニでの証明書発行）についても話し合った。（協働推進課） 武蔵野コミセンまつりと元狭山コミセンまつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したが、長岡コミセンまつりは開催した。（協働推進課） 武蔵野コミュニティセンター主催事業として、初心者の方を対象とした『ヨガ教室』と『コミセンの防災設備などを見学してみよう』を実施した。元狭山コミュニティセンター主催事業として、初心者の方を対象とした『太極拳教室』と『コミセンの防災設備などを見学してみよう』を実施した。長岡コミュニティセンター主催事業として、初心者の方を対象とした『やさしいヨガ教室』と『コミセンの防災設備などを見学してみよう』を実施した。（協働推進課） 自助及び共助の一躍を担う自主防災組織の活動においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響で十分な活動はできなかったが、コロナ禍においても、防災訓練で「タオルで知らせる安否確認」を実施し、防災意識の向上を図った。（安全・安心課）	**地域住民が活動する拠点として、コミュニティ施設の維持管理・運営は引き続き柔軟な利用方法が求められる。新型コロナウイルスの類型変更がされ、感染拡大前のような状況に戻ることに期待するが、時間をかけてでも、地域住民が活動できる新たな方法を模索する事が必要である。**
令和5年度	・地区会館及びスポーツ広場等は、地域に精通した地元町内会と維持管理及び貸出業務の委託契約を結び、施設管理者からの要望等を取り入れ、必要に応じた修繕等を行った。 ・コミュニティ助成事業を活用し、各地区会館に会議用テーブル及びホワイトボードを整備することで、安全・安心にコミュニティ活動を行える環境を整備した。 ・コミュニティ機能、生涯学習機能等を備えた複合型施設であるコミュニティセンターは、地域住民の主体活動によるコミュニティ形成及び交流の場として有効活用している。 ・町民会館は、令和3年5月8日から令和5年10月28日まで新型コロナウイルスワクチン集団接種会場として使用し、施設貸出を中止していたが、令和6年1月4日から再開した。 ・地区会館及び各コミュニティセンターでは、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2類相当から5類に移行されたことにより、制限を解除した。 ・コミュニティセンターの管理運営、コミセンまつり等を話し合うコミュニティセンター管理運営検討委員会を武蔵野で年2回、元狭山で年2回（うち1回書面開催）開催した。管理運営状況とコミセン主催事業のほか、コミセンまつりについて話し合った。 ・武蔵野コミセンまつり（5月）、元狭山コミセンまつり（11月）、長岡コミセンまつり（3月）を実施し、長岡コミセンまつりでは食べ物の提供（焼きそば及びポップコーン）を再開した。 ・武蔵野コミセン主催事業を5回（写経教室・ボッチャ体験教室・楽ヨガ教室・お薬手帳ケース作り教室・「睡眠と健康」の知恵袋講座）、元狭山コミセン主催事業を4回（写経教室・ボッチャ体験教室・水引アート体験教室・「そうぞく」講座）、長岡コミセン主催事業を4回（写経教室・工作教室・ボッチャ体験教室・自彊術体験教室）実施した。	**コミュニティ施設は、コミュニティ活動の基盤となる場所であり、行政として側面的な支援を継続している。町内会、自治会活動の重要性は、重々承知しているところであり、加入促進、活動支援などの取り組みについて連合会活動と連携し、地域活動の重要性がより多くの住民に認識され、誰もが利用しやすい活動環境を提供することができるよう、引き続き努められたい。**
令和6年度		
令和7年度		

5 個別事務事業概要

（単位：千円）

No.	事務事業名	担当	令和5年度 当初予算額	令和5年度 決算額	令和6年度 当初予算額
1	町内会（自治会）への支援	協働推進課	15,620	10,999	15,730
			事務事業の概要		
			地域の積極的なコミュニティ活動や先進的な取り組みを支援し、住民一人ひとりが主役となったまちづくりを進め、各地域の主体的な活動を促進し、その活性化を図ることを目的とする。また、コミュニティ活動を活性化するため、研修会や先進地視察などを推進し、地域のリーダーの育成を図るとともに、低迷化している町内会・自治会加入率の増進を図っていく。		

No.	事務事業名	担当	令和5年度 当初予算額	令和5年度 決算額	令和6年度 当初予算額
2	地区会館管理委託及び修繕等	協働推進課	80,027	77,335	9,308
			事務事業の概要 再掲として、７－４公共施設マネジメントに記載あり		
			航空機の騒音によって、著しく生活環境を阻害されている町民の生活文化の向上と社会福祉の増進に寄与するため、コミュニティ活動の場として10の地区会館を提供している。会館の設置目的をより効果的に達成するため、地域に精通した地元町内会と会館の維持管理及び貸出し業務の委託契約を締結し、施設環境整備の充実と利用者の拡大を図っている。 また、利用者の利便性と適正な維持管理を図るため、会館の修繕を行い地域コミュニティ活動等の推進を図っている。		

No.	事務事業名	担当	令和5年度 当初予算額	令和5年度 決算額	令和6年度 当初予算額
3	スポーツ広場等の提供	協働推進課	38,190	32,763	10,192
			事務事業の概要 再掲として、７－４公共施設マネジメントに記載あり		
			スポーツ広場等を町で借り上げ、町民に開放し提供することで、スポーツ振興と地域コミュニティ活動の活性化及び拡大を図ることを目的とし、12か所のスポーツ広場等について、維持管理に伴う運営費を町内会・自治会へ交付している。町で借り上げているスポーツ広場等の用地借上料の支払い、維持管理に伴う工事・修繕、樹木の剪定委託及び原材料費による砂の搬入等が主な内容である。		

No.	事務事業名	担当	令和5年度 当初予算額	令和5年度 決算額	令和6年度 当初予算額
4	コミュニティセンターの運営	協働推進課	63,351	60,759	66,428
			事務事業の概要 再掲として、７－４公共施設マネジメントに記載あり		
			コミュニティセンターは、コミュニティ機能、生涯学習機能、役場の連絡所機能（住民関係諸証明の受付、交付事務）や地域図書室（武蔵野・長岡）体育館的施設（長岡）を備えた複合型施設であり、地域住民の主体的活動によるコミュニティ形成の場及び交流の場として有効活用を図る。		

No.	事務事業名	担当	令和5年度 当初予算額	令和5年度 決算額	令和6年度 当初予算額
5	自主防災組織の強化・育成事業	安全・安心課	金額については、５－１危機管理・防災・災害対策に記載		
			事務事業の概要		
			地震、火災等から身体や財産を守るためには、町民が普段から防災訓練等の各種訓練に参加することを心掛け、防災行動力を高めておくことが大切である。同時に地震災害を防ぐためには、町民一人ひとりの力では限界があり、「自分たちの町は自分たちで守る」という自主防災の組織的な体制のもとで、地域の人々が協力し合って災害に立ち向かうことが必要である。町では、自主防災組織の強化・育成のため、毎年、総合防災訓練や防災リーダー講習会（普通救命講習）を実施しており、自主防災組織を育成する最も良い機会であると考え、今後も引き続き、自主防災組織主導型の防災訓練を実施する。		
合 計 額			197,188	181,856	101,658